

平成29年度第5回天童市教育委員会について（報告）

日 時	平成29年8月22日（火） 午前10時～10時45分
場 所	教育委員会 第一会議室
出席委員	相澤一彦教育長、井上正信委員、大貫紀代子委員、本田孝之委員
欠席委員	阿部真由美委員
出席者	佐藤雅教育次長兼教育総務課長、江川久美子学校教育課長、 武田文敏生涯学習課長、萩生田伸悟学校給食センター所長 事務局（教育総務課職員）
議 事	議第16号 天童市市民プラザ設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

<教育長あいさつ>

明日が処暑ということで、暑さが止まる頃であります。まだ1カ月先ですが、教育委員の皆さんの任期の周期は9月末が区切りとなっており、それを迎える時期において皆様からこれまでご協力いただいたことに感謝いたします。

今日は各中学校で行っている放課後学習会についてお話しいたします。7月24日から30日までの期間で、9時から12時まで、あるいは13時から16時まで、もしくは1日実施の時もありました。参加の仕方は、弁当を持参して午前中に部活動、昼食後に学習会。あるいはその逆順のようです。学校は大変になりますが、保護者は喜んでいる方が多いようです。

参加人数は、十数人の学校もあれば130人の学校もあります。また、内容は基本的には宿題を進めるテキスト学習をやっていますが、場合によっては、理科や社会の先生が苦手な生徒を集めて、あるいは部活動ごとに授業をしていました。指導形態は講師の巡視による相談です。教員の付きつきりによる負担を心配していましたが、予想以上に若い、大学生の講師の方に任せているようでした。このようにできている要因としては、学校が落ち着いていること、冷房が完備していることが大きいと思っています。

成果と課題の面では、無償でもっと学びたい生徒の受け皿となっていること。部活動の合間など、参加の敷居が低くなっていること。授業に出られない生徒、不登校傾向の生徒も参加していたこと。特に、昨年から実施の第四中学校では、学習形態にも工夫が凝らされており、校長先生とも話しましたが、学習が習慣化されてきているとのこと。一方、課題の面では、本当に来てほしい生徒が来ているかということそうでないこと。また、教師の負担はゼロではない。さらには、保護者の養育意識が高まらない面もあるのではないかと考えています。

結びに、先日のまちづくり懇談会で、今後の天童市の教育はどうなるのか、抽象的な概念でもいいので、との話がありました。天童の教育の明確化が大切だと感じました。推進していくことは、「個を大切にそして新たな教育への積極的チャレンジ」です。個を大切にとは、いじめを繰り返さないのちの教育、

特別支援教育の尊重、の二つの柱で個を大切にしていくこと。チャレンジは、放課後学習会のような学習習慣の確立、ICT活用、英語教育の推進を次代に遅れないように積極的に取り組むことです。この2つを基礎に創造的な生きる力を作っていくことが天童の教育といえるのではないかと思います。

今後ともご支援いただきながら、良い教育となるよう進んでいきたい。

< 議 事 >

議第16号 天童市市民プラザ設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正
について

<可決する>

審議経過

<全会一致>

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

< 報 告 >

なし

教育長：他には無いようですので、第5回教育委員会会議を終了します。